

2016年12月21日

**「Diversity for Growth」の更なる取組み
～LGBT取組評価「PRIDE指標」における「シルバー」評価の獲得と
LGBT社員が働きやすい環境構築に向けた取組み～**

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、このたび、LGBTの取組みにおいて、性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体 work with Pride（以下、「wwP」）から企業の性的マイノリティ（以下、「LGBT」）に関する取組みの評価指標「シルバー」認定を獲得しました。また、社員が働きやすい環境構築に向けた取組み内容についてお知らせします。

1. 「PRIDE指標」で「シルバー」評価を獲得

2016年10月26日に任意団体wwPが、日本で初めて策定したLGBTなどの性的マイノリティに関する取組みの評価指標「PRIDE指標」において「シルバー」評価を獲得しました。この認定は、1. Policy（行動宣言）、2. Representation（当事者コミュニティ）、3. Inspiration（啓発活動）、4. Development（人事制度・プログラム）、5. Engagement（社会貢献・渉外活動）の5つの評価指標で採点するものです。損保ジャパン日本興亜は、4項目を満たし評価を獲得しました。



2. アライ（支援者・理解者）になるための勉強会を開催

損保ジャパン日本興亜では、過去より全社員向けのCSR研修において「LGBT学習コンテンツ」を導入し、LGBTに関する理解を深めてきました。より働きやすい職場環境の構築に向け知識を深めることに加え、社員がアライになるための勉強会を開催しました。勉強会には、SOMPOホールディングスグループの社員約120名が参加し、アライとして職場や個人でできることを学びロープレを通じ理解を深めました。当日アライを表明した社員に対し、LGBTフレンドリーステッカーを配布し、それぞれの職場においてよき支援者・理解者として働きやすい職場環境作りをリードしていくことを宣言しました。



LGBTフレンドリーステッカー



勉強会終了後、アライ表明者による記念撮影

3. 本社ビルジェンダーフリートイレの設置

損保ジャパン日本興亜では、研修施設に「ジェンダーフリートイレ」、本社診療所に「誰でも更衣室」を設置するなど、インフラ面からのLGBT対応（バリアフリー化）を進めています。このたび、本社ビルにも、同様に、「ジェンダーフリートイレ」を設置しました。



4. 今後について

ダイバーシティをグループの成長に欠かせない重要な経営戦略として位置づけ「Diversity for Growth」をスローガンに、引き続き、LGBTの社員が働きやすい環境の構築などさまざまな取組みを行っていきます。

(参考) LGBT社員の働く環境整備に向けたその他の取組み

①人事制度・福利厚生制度の見直し（2016年7月）

同性パートナーを配偶者とみなして制度利用を可能とするよう住宅手当、慶弔休暇、介護休業・育児休業、福利厚生施設利用などの人事制度・福利厚生制度を見直しました。

http://www.sjnk.co.jp/~media/SJNK/files/news/2016/20160413_1.pdf

②SOMPOホールディングスグループ人間尊重ポリシーの改定（2016年10月）

SOMPOホールディングスグループで定めている「人間尊重ポリシー」において、LGBTの社員への人権配慮を明記するなど改定を行いました。

http://www.sompo-hd.com/~media/hd/files/news/2016/20161006_1.pdf

③採用時のエントリーシートの性別欄に「その他」を追加（2016年4月）

以上